

医療支援センターは入院前から退院支援に向けての対応をはじめ退院後の支援も一元的に実施すること、入退院を繰り返す患者様が、安心して在宅療養ができるサポート体制を作るために入退院支援室、地域医療連携室、訪問看護ステーションの3つの部署から組織されています。

入退院支援室

入退院支援室は、患者様が安心して入院・治療し退院を迎えられるように支援するところです。患者様一人ひとりの身体的、精神的、社会的、経済的背景を理解し、入院前から退院後の生活を見据えて、療養移行や社会復帰を支援いたします。

入退院支援室では皆様が安心して治療に専念していただけるよう、保健師、看護師、医療ソーシャルワーカーを配置しており、それぞれの専門性を生かし、院内外の関係者と連携いたします。

入院の予定がある方は、入院支援コーナーで、入院の目的、日常生活状況や入院までの経過を伺い、入院時に準備するものや入院生活についての説明をさせていただきます。

入院中は、担当の保健師、看護師や医療ソーシャルワーカーが主治医や関係多職種との情報共有を受けて、病棟やベッドサイドで、医療費に関すること退院後の医療や福祉サービスの利用、介護の継続事項などの相談をさせていただきます。

ご来院いただく場合は、窓口8番の医療支援センター患者相談窓口です。
がん相談支援センターの役割も担っております。お気軽にご相談ください。

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目

旭川赤十字病院 ⑧医療支援センター 患者相談窓口

(二条通り側 玄関横)

TEL : 0166-22-8111

FAX : 0166-22-8287

入院支援コーナー (内線1147)

退院支援係 (内線1185)

相談支援係 (内線3120)

療養支援係 (内線3121)

地域医療連携室

地域医療連携室は、平成11年10月に医事課内に設置され、平成23年4月1日より「医療支援センター」の1部署となりました。入退院支援室、訪問看護ステーションは患者様やそのご家族と関わることが多いのに対し、地域医療連携室は地域の医療機関と関わることが多い部署と言えます。

地域医療連携室では、地域の医療機関からの診療予約、CT・MRI等医療機器の共同利用、開放病床などの窓口を担っております。また、たいせつ安心 i 医療ネットの運用管理を行っており、旭川市内及び市外の医療機関とのIT医療情報連携も行っております。さらに、地域医療支援病院として、地域住民の皆さまを対象とした教育講座や地域の医療機関を対象とした研修会、講演会等を開催しております。

このように、地域医療連携室では当院が地域医療支援病院の役割を果たすべく、かかりつけ医である開業医の皆様、地域の医療機関、福祉関連事業所のご担当者様と連携を図り、急性期医療を中心に質の高い医療を提供し、地域医療に貢献するべく、その対応窓口としての業務を行っております。

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目

⑧ 旭川赤十字病院 医療支援センター
(二条通り側 玄関横)

地域医療連携室

TEL : 0166-22-8111 (内線1188・1189)

FAX : 0166-22-8287

旭川赤十字訪問看護ステーション

訪問看護ステーションは、平成6年12月に、日本赤十字社北海道支部が、旭川赤十字病院の付帯事業として設置しました。

旭川赤十字訪問看護ステーションは、旭川赤十字病院をはじめ、地域のクリニックや病院の先生から指示を受けて、利用者様のご家庭を訪問させていただいております。旭川赤十字訪問看護ステーションは、旭川赤十字病院をはじめ、地域のクリニックや病院の先生から指示を受けて、利用者様のご家庭を訪問させていただいております。症状や療養生活を看護の専門家の目で見守り、適切な判断に基づいたケアを、24時間365日、在宅で療養生活が送れるように支援させていただいております。常に、医師や関係機関と連携をとり、在宅ケアの充実を図ります。

医療支援センターの一部署として、院内の情報交換がスムーズで、より迅速な対応ができます。

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目旭川赤十字病院内
医療支援センター

旭川赤十字訪問看護ステーション

TEL 0166-22-7218 (直通)

FAX 0166-22-3375

メール houmonkango@asahikawa-rch.gr.jp